

## 山 行 報 告 書

山行報告者：今 田

山 域・山 名： 裏妙義ビバーク訓練山行	
入山日又は期間：平成 29 年 4 月 22 日 帰宅予定日： 4 月 23 日	
プラン担当者 正： 副：	
参 加 者	L：今田 記： 報：
	男 1 名、女 名、計 1 名
天候 晴れ、ときどき曇り	
4 月 22 日 (土)	6：30 自宅発～9:10 裏妙義国民宿舎駐車場 104km 9：30 丁須の頭方面へ～10:00 木戸～11:50 丁須の頭～13:00 赤岩～ 13:40 風穴尾根の頭～14:30 三方境周辺にてビバーク
4 月 23 日 (日)	5:00 三方境～6:30 裏妙義国民宿舎駐車場～8:10 金鷄橋定例山行チームと合流
装 備 と 食 糧	共同装備：ツェルト、8mm50m ロープ
	個人装備：ツェルト、バーナー、 シュラフ、マット、雨具、コンパス、地図、水 2.5L、セルフビレイセット、 コップェル、防寒服、手袋、ヘッドランプ 22 日昼食、夕食、行動食 23 日朝食、行動食
感 想	新緑の柔らかな日差しの中歩き始め、木戸でルンゼ取り付けの確認ができた。丁須の頭を過ぎると 20mほどのチムニーがありクサリが掛かっていたが足場が悪いのでロープで懸垂下降、烏帽子岩までの銃走路はクサリのトラバースが多く、セルフビレーを取りながら通過した。標高 900mほどの三方境でツェルトを張り夕食を準備していると冷え込んできたため早々にツェルトへ。今回はシュラフを使用した。実際に道迷い、視界不良などで停滞するとき耐えられるのか自問しつつ一晩過ごした。いろいろと課題のできた山行であった。